

久留米大学病院腫瘍センター第57回がん教室

がん治療における 漢方の役割



漢方はがんの進行による身体の苦痛をやわらげたり、免疫機能を上げ、治療効果を高めてくれる作用などが期待されています。漢方の役割・効果について病院長がお話します。

～ぜひ、ご参加ください～



参加無料

申込
8月8日～

定員50名

日時：9月3日（月）午後1時～2時

場所：総合診療棟4階

共同カンファレンスルーム

講師：病院長（小児外科 教授）

八木 実 先生

講演のあと、がん専門相談員の先生を交えた交流会“がんサロン”を開催しています。ぜひお気軽にお立ち寄りください！



問合せ：久留米大学病院腫瘍センター 0942-27-8249